

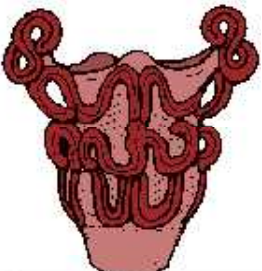
社会【小6】指導カリキュラム

指導ユニット・『指導語彙・表現』

テキスト，プリント



社会【小6】4月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 1 縄文[じょうもん]のむらから古墳[こふん]のくにへ  じょう じょう文式土器.GIF  は はにわ.GIF	★狩猟・採集や農耕の生活、古墳とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、農耕の始まりによってそれまでの生活や社会が大きく変化し、各地に大きな力をもつ豪族が出現して、やがて大和朝廷によって国土が統一されていったことがわかるようにするとともに、神話や伝承に見られる国の形成に関する考え方などに関心をもつ。 【用語】 縄文[じょうもん]時代 たて穴住居 さまざまな道具(石や木や動物の骨・角など) 縄文[じょうもん]土器 貝塚[かいづか](食料として食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所) 弥生[やよい]時代 弥生[やよい]土器 木製のくわ 石包丁 『米づくり』 日本には2300年以上前に伝わったといわれています。米は、ひとつぶから10倍以上の収穫[しゅうかく]が得られ、保存性も高く、栄養もあるので、人々の生活の安定に役立ちました。 『むらからくにへ』 【用語】 豪族[ごうぞく] 鉄器 青銅器 麻[あさ]や絹でつくった布 丸木舟[まるきぶね] 南方の貝でつくったうで輪 鉄製の小刀 銅剣[どうけん] 銅鐸[どうたく] 卑弥呼[ひみこ] 邪馬台国[やまたいこく] 『渡来人[とらいじん]』 渡来人[とらいじん]は、中国や朝鮮[ちょうせん]半島などから日本にわたり、蚕・はた織り・鍛冶[かじ]などの技術や、筆・紙・酒などをつくる方法を新たに日本に伝えました。漢字や仏教を伝えたのも渡来人[とらいじん]です。 【用語】 大仙[だいせん](仁徳陵[にんとくりょう])古墳[こふん] 前方後円墳[こうえんふん] 円墳[えんふん] 方墳[ほうふん] はにわ 『古墳[こふん]』 その大きさや副葬品[ふくそうひん]などから、古墳[こふん]にはうまれた人物の力の大きさが想像されます。特に巨大[きょだい]な古墳[こふん]は、近畿[きんき]地方に多く見られます。 『大和[やまと]朝廷[ちやうてい]と国土の統一』 『大和[やまと]朝廷[ちやうてい]』 大和[やまと]地方の豪族[ごうぞく]たちが4世紀ごろに大王を中心にまとまってつくった国の政府です。大和[やまと]朝廷[ちやうてい]が各地に勢力を広げるのにもとまって、国としての日本の形がしだいにできあがっていきました。

【用語】 「古事記」, 「日本書紀」, 「風土記[ふどき]」 (8世紀ごろ)

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室



縄文時代と弥生時代の特徴



縄文時代	弥生時代
- 縄文土器 (黒っぽく、厚手でもろい。縄目のもよう) - 磨製石器・骨角器 - 台地のたて穴住居 - 移住生活、定住生活 - 狩り・漁・採集・栽培の生活 - 土偶・高床倉庫 - 貧富の差がない。	- 弥生土器 (赤っぽく、うす手で固い。直線のもよう) - 金属器・木製農具・弥生土器 (赤っぽく、うす手で固い。直線のもよう) - 低地のたて穴住居 - 定住生活 - 米作りが広がり、高床倉庫に穀物をたくわえる。 - 貧富の差がでてくる。
大森貝塚・三内丸山遺跡	登呂遺跡 吉野ヶ里遺跡

※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

- 18 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室

農具のいろいろ



- ★ 田げた
水田はどろが深く、足がしずみこんで働みにくい。それで、田げたをはいて、足がしずむのをふせいだ。
- ★ 石ばうちょう
今のいねかりでは、いねの株の根元からかるが、大むかしは、ほのところからかり、ほをたばねて、高床倉庫にしまっておいた。
- ★ 木のくわ
田の土を起こす。土のかたいところを木で起こすのは、たいへん。



※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

- 68 -

→ ② プリント(問題)

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室



土器～弥生時代の遺跡

- 1…群馬県桐生市の近く
- 2…東京都大田区
- 3…静岡県
- 4…佐賀県
- 5…青森県

群馬県の岩宿(1)で、関東ローム層から打製石器が発見され、青森県の三内丸山(5)で縄文時代の大きな集落跡が発見された。
アメリカの動物学者モースが、東京の大森(2)で、縄文時代の人々のごみ捨て場だった貝塚を発見した。
静岡県の登呂(3)で、水田跡が発見され、佐賀県の吉野ヶ里(4)で、大きな集落跡が発見された。

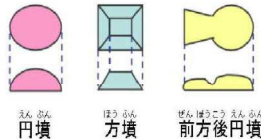


※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

- 28 -

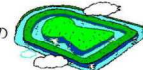
習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室

古墳の形



- ・ 墳とは…土を盛りあげてつくった墓のこと。
- ・ 方とは…四角のこと。
- ・ 前方後円墳とは…前部が四角形で、後部が円形の墓のこと。日本独特の形の古墳だ。

大山古墳は、たての長さが475mあり、高さは35mもある。まるで、山のような。これをつくるのにどんなに多くの人が働いたのだろうか。
※ 大山古墳は仁徳陵古墳ともよばれ、仁徳天皇の墓であると伝えられている。大阪府堺市にある。



※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

- 78 -

→ ③ テスト

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室



高床倉庫

高床倉庫は、とれた米をしまっておくための建物です。

- ① ゆかが高い
風通しがよく湿気が少ないので、米を長期間保存できる。
- ② ねずみがえしをつける。
ねずみが柱を伝って中に入れないようにする。



※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

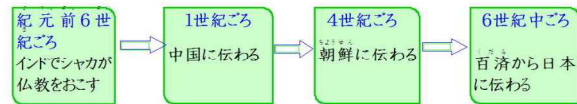
- 48 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教室



仏教の伝来

★ 仏教はどこでおこり、どのようにして日本に伝わったのだろう？



- ・ このころ朝鮮半島には、高句麗・百済・新羅・加羅の、4つの国があった。
- ・ 日本と親交があったのは、百済だった。
- ・ 朝鮮や中国から日本に来て住みついた人を、渡来人という。
- ・ かれらは、大陸の進んだ技術を日本に伝え、大和朝廷に大切にされた。

※ 資料 社会テキスト 小61学期 4月 風土のむらから昔のくくへ 28

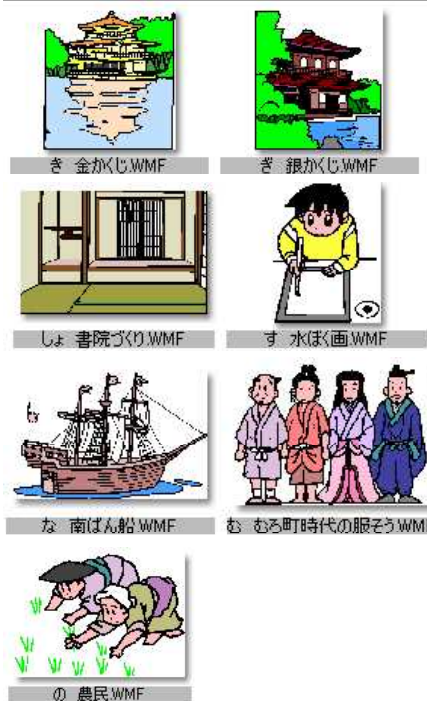
- 88 -

社会【小6】5月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 2 天皇中心の国づくり 聖徳太子が推古に就いたころの様子 朝廷では…… 渡来人を重用して進んだ技術を取り入れ、勢力を増した蘇我氏が、他の豪族をおさえて権力をにぎった。 地方では…… 豪族たちが自分の土地を自由に治め、さらに勢力をのばそうとして、たがいに争っていた。 聖徳太子は…… 豪族たちの争いをおさえて、蘇我氏と協力しながら、天皇中心の国家をつくらうと考えた。 しかし、聖徳太子が死ぬと、再び蘇我氏が政治にぎり、皇室と対立するようになった。そして大化の改新が起きた。 奈良時代の様子 奈良に都がおかれていた時代…奈良時代 710年 中国〔唐〕の都長安にならって、奈良の都＝平城京がつけられた。 奈良時代の中ころは、きんが続き悪い病気も流行した。また、貴族や僧のあいだで争いがおこり、世の中が乱れてきた。このころ、仏教には国を治め安らかにする力があると信じられ、天皇は仏教によって世の中を平和にしようとした。 この考えから、全国に国分寺、東大寺が建てられた。 しかし農民は… ・平城京や国分寺づくりの費用としてたくさん税をばらわされた。 ・平城京や国分寺づくりのため重い労働をさせられた。 ・つらく苦しい生活をしていた。 貴族の住まい (百屋づくり) ★建物になんかむねもなれば、その前には小川や池のある庭園、金銀のよういついた美しい家具。 藤原道長の家のしき地は、南北が240m、東西が120mもあった。 ★障子やふすまがなく、すだれなどできいただけだから、冬はかなり寒かったらしい。 日光もあまりさしこまなかったようだ。 	★大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、天皇中心の政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことがわかるようにするとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 聖徳太子 摂政[せっしゃう] 遣隋使[けんずいし]—小野妹子 『冠位十二階[かんいじゅうにかい]』 家柄[いへがら]や出身地に関係なく能力や功績で役人を取り立てる。 『十七条の憲法』 政治を行う役人の心構えなどが書かれてあり、太子の政治の理想がわかります。 第1条 人の和を第一にしなければなりません。 第2条 仏教をあつく信仰[しんこう]しなさい。 第3条 天皇の命令は必ず守りなさい。 第12条 地方の役人が勝手に、みつぎ物を受け取ってははいけません。 『法隆寺[ほうりゅうじ](世界文化遺産)』 仏教の教えを人々の間に広めようとしてしました。 『世界遺産』 世界遺産条約にもとづき、人類共通の宝物として、次の世代に伝えていかなくなくてはならない文化財や自然環境[かんきょう]が登録されています。 『大化の改新』 蘇我[そが]氏 ←→ 中大兄皇子(後の天智[てんち]天皇)と中臣鎌足[なかとみのかまたり](後の藤原鎌足[ふじわらのかまたり]) 『税』 租一稲[いね]の収穫高[しゅうかくだか]の約3%を納める。 調一織物や地方の特産物を納める。 庸[よう]一年間に10日都で働くか布を納める。 『天皇』 7世紀のころから、それまでの大王からよび名が変わっていきました。神話では、国をつくった神々の子孫とされており、その地位は時代をこえて続きました。

社会【小6】6月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 3 武士の世の中へ  か ま倉時代の服そうWME  大仏(鎌倉).jpg	★武士のくらし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、武士による政治が始まったことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 平氏—平清盛 厳島神社(広島県廿日市市[はつかいちし], 世界文化遺産, 国宝) 源氏—源頼朝[みなもとのよりとも] 源義経(頼朝[よりとも]の弟) 鎌倉[かまくら]幕府 「いざ鎌倉[かまくら]」 御成敗式目[ごせいはいしきもく](武士の裁判の基準となる法律) 『武士』 武芸を職業として朝廷[ちやうてい]や貴族に仕え、合戦や警備などに当たりました。やがて、地方の反乱や都の権力争いのなかで勢力をのばし、この後700年ほど続く武士の世の中を築き始めました。 『征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]』 鎌倉[かまくら]幕府を開いた頼朝[よりとも]が任命された後は、武士をまとめていく最高の地位として引きつがれていきました。この後の武士の世の中では、将軍とは征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]のことを指すようになりました。 『「ご恩」と「奉公[ほうこう]』』 幕府は、武士の大切な領地を保護し、ときには新しくあたえました。武士は、幕府のために領地に見合ったさまざまな働きをしました。領地を中心に幕府と武士の関係は成り立っていったのです。 『一所懸命[いっしょけんめい]』 武士にとって領地は一族の生活がかかった大切なものだったので、命をかけて守りました。また、戦いの場では手がらを立てて恩賞を得るために命がけで働きました。 『元寇[げんこう]』 元の大軍が2度にわたり九州北部にせめてきました。
1 日本の歴史 4 今に伝わる 室町[むろまち]文化	★京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画とそれらにかかわる人物の働きを通して、今日の生活文化に直結する要素をもつ室町文化が武士や民衆の中から生まれ、今も多くの人々に親しまれていることがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 室町[むろまち]幕府 3代将軍—足利義満 金閣(京都市, 世界文化遺産) 8代将軍—足利義政 銀閣(京都市, 世界文化遺産) 『書院造』



住宅の中で客をもてなすための専用の部屋のつくりとして発達しました。日本の文化に合ったつくりなので、長く受けつがれ、現在の和室のもとになっています。

『茶の湯』
茶会の席での作法なども、この時代からしだいに形づくられていき、現代の茶道[きどう]へとつながっています。

『生け花』
この時代に発達した生け花は、その後も発展し、現代ではさまざまな流派があります。

『すみ絵(水墨画[すいぼくが])』 一雪舟[せっしゃう]
中国で生まれ、日本には禅宗[ぜんしゅう]とともに伝えられたので、寺でさかんにえがけられました。独特の技法でかかれた絵は、アジア文化の特徴[とくちょう]をよく表すものとして、海外でも高く評価されています。

『能(無形文化遺産)』
少ない人数で、役者の言葉と動きを中心に道具などをほとんど使わずに演じられます。
・狂言[きやうげん](無形文化遺産)

『御伽草子[おとぎぞうし]』
「ものぐさ太郎」など、現在でも知られている話も多くあります。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

富山県日本国・ポルトガル語通訳指導要綱

建武の新政と日明貿易

- ★ 建武の新政
後醍醐天皇は、鎌倉幕府に不満をもつ御家人を集めて、幕府をたおした。つまり、鎌倉幕府をたおしたのは武士の力だった。ところが、天皇による政治は、公家(貴族)中心。
幕府をたおすために戦った武士たちは、むくわれなかった。
- ★ 日明貿易
九州や瀬戸内地方の人々には、海ぞくとなって、朝鮮や中国の海岸地方をあらし回る者がいた。これを倭寇とよぶ。中国(明)では、倭寇に手を焼いていた。
義満は、貿易を行うことを条件に、とりしまりを約そくした。この貿易では、勘合符(かんごうふ)という合符だが用いられ、勘合貿易ともよばれる。



※ 資料 授業テキスト 小61第1期 6月24日に採る富山県文化財

- 17 -

富山県日本国・ポルトガル語通訳指導要綱

足利義満の政治

3代将軍義満は、京都の室町に幕府を開いた。ここは花の御所とよばれた。将軍は、諸国で成長した守護大名の力をおさえて勢いをふるい、また、明との貿易を始めて、幕府の財政を豊かにした。このころは、室町幕府が最も安定した時期である。



足利義満

- 義満がやったこと
- ・ 北山に金閣を建てた。
 - ・ 南朝と北朝を合一した。

※ 資料 授業テキスト 小61第1期 6月24日に採る富山県文化財

- 27 -

富山県日本国・ポルトガル語通訳指導要綱

室町時代のおもしろい

- ★ 1338年、足利尊氏が京都に幕府を開いた。
- ★ 後醍醐天皇が吉野(奈良県)に移した南朝と、幕府が京都においた北朝とが、約60年にわたり対立した。
- ★ 応仁の乱の後、幕府の力は急速におとろえ、戦国時代にはいった。
- ★ 農民は、年貢を減らしてもらおうと、集団で領主にうったえ、土一揆をおこした。
- ★ 足利義満は、京都の北山に金閣を建て、義政[よしまさ]は京都の東山に銀閣を建てた。



※ 資料 授業テキスト 小61第1期 6月24日に採る富山県文化財

- 77 -

社会【小6】7月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 5 戦国の世から江戸 [えど]の世へ 『戦国とキリスト教の伝来』 1543年、種子島に漂ったポルトガル人によって伝えられた。 キリスト教→1549年、鹿児島に来航したスペインの宣教師、フランシスコ・ザビエルによって伝えられた。 ★ 16世紀中ごろに伝わったこと、ヨーロッパ人によって伝えられたこと、九州南部に上陸したことなど、共通点が多い。 ★ このころ、外国と貿易をしていたヨーロッパの国々は、新しい航路をさがしては、さかんに海外の新世界へと乗り出していた。日本へは、東南アジアのほうから北上してやってきた。 『天下統一まで』 ・ 戦国大名は、城を築き、まわりに家来の武士や職人などを集めて住まわせて城下町をつくった。 ・ ポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。また、スペイン人のフランシスコ・ザビエルがキリスト教を伝えた。 ・ 京都にのぼった織田信長は、1573年に室町幕府をほうばした。 ・ 明智光秀を倒った豊臣秀吉は、大阪城を根拠地として、全国統一を進め、1590年に北条氏をほうばして統一を達成した。	★キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、戦国の世が統一され、身分制度が確立して武士による政治が安定したことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 戦国大名 織田信長 安土城[あづちじょう] 天下布武 キリスト教を保護→フランシスコ・ザビエル 南蛮[なんばん]貿易 『全国統一』 全国統一を目指した武将の多くは、まず京都を目指しました。自分の力を室町[むろまち]幕府や朝廷[ちやうてい]によって認めてもらうためです。尾張[おわり]を拠点[きょてん]とした織田信長は、京都に近い位置にいたので有利でした。 『楽市・楽座』 城下町ではだれでも商売ができ、市場の税や関所をなくす。 『鉄砲[てっぽう]』 当時の戦いのあり方を大きく変えたといわれ、非常に高価なものでした。その威力[いりよく]に目をつけた信長[おさ]は鉄砲[てっぽう]の産地や貿易港を支配することで、ほかの大名よりもずっと多くの鉄砲[てっぽう]を手に入れました。 【用語】 豊臣秀吉[ひでよし] 大阪城[おおさかじょう] 関白 石見銀山(島根県大田市, 世界文化遺産) 武士と百姓[ひゃくしょう]・町人(商人や職人)という身分の区別 『検地と刀狩[かたながり]』 戦国の世では、百姓[ひゃくしょう]などの領民も戦いに加わり、武士との身分のちがいはそれほど厳密ではありませんでした。しかし、検地と刀狩[かたながり]によって武士との身分のちがいが明確にされ、身分の固定化がはかられました。 『百姓[ひゃくしょう]』 もともとは貴族以外の一般[いっばん]の人々という意味でした。武士が登場すると、しだいに農業や漁業などを営み、年貢[ねんぐ](税)などを納める人々を指すようになりました。そして秀吉[ひでよし]の時代に、村に住み、農業、林業や漁業に従事する人々の身分を指す言葉になりました。

江戸時代の始まり



徳川家康

- ・徳川家康は豊臣氏に味方する大名の軍を関ヶ原の戦いで破り、1603年に江戸に幕府を開いた。
- ・大名は、徳川氏の一族の親類と、古くから徳川氏に仕えていた譜代と、関ヶ原の戦いのちに徳川氏に仕えた外様とに、分けられた。
- ・士農工商のきびしい身分制度ができ、武士の特権が認められた。
- ・九州の天草・島原地方で島原の乱がおこったあと、幕府はキリスト教の禁止を徹底させるなどの理由から、鎖国を行った。

鎖国のもぐりき (4)

- ◆ 江戸幕府のしくみを確立し、幕府の安定を保つため、鎖国政策がとられた。鎖国をした大きな目的は次のようなことだった。

- 目的その① キリスト教が入るのをさける
- ・幕府は、武士と他の階級との身分差をはっきりさせ、上下関係を重んじた。だから、平等を説くキリスト教が広まるのは、つづがが悪い。
 - ・教えを広める宣教師は、貿易船に乗ってやってきたから、布教を防ぐには、貿易をやめなければいけない。それで、幕府は、諸外国との交流を絶った。
 - ・ただし、オランダと中国(清)は布教活動を行わなかったため、貿易を続けた。

大名行列

諸国の大名は、幕府が定めた参勤交代の制度に従って、1年おきに江戸で生活するために、江戸と自分の領地とを往復した。

下の絵は、大名行列の様子をうかがうもので、大名の乗ったごごをばきんで、多くのけいりや、家来などを運ぶ人々の行列が続いている。



幕府の創設と開港のしくみ

下の文は、1649年に3代将軍家光がだした、最安の御触書というきまりの一部である。

- 一、朝は早起きして草をかり、昼は田畑を耕し、夜はなをない。たわらをあみ、ゆだなく仕事に はげみなさい。
- 一、酒や茶を買って飲んではならない。
- 一、衣類は、あさ、もめのんのはかは着てはならない。

幕府は、農民の日常生活のすみずみまできびしくとりしめし、農民に、生活できる最低限のところで生活させた。こうして、年貢を確実にとれたようとした。

幕府は日常生活をとりしめ一方、次の図のような上下関係で農民を支配した。

【用語】 江戸城[えどじょう] 関ヶ原(岐阜県[ぎふけん])の戦い 天下分け目の戦い
日光東照宮[とうしょうぐう] 陽明門(栃木県[とちぎけん])日光市、世界文化遺産、国宝)
キリスト教の禁止 絵踏み

『徳川家康』
1603年 征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]に任じられ、江戸[えど](東京都)に幕府を開きました。

『江戸[えど]幕府』
征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]を中心とする武士の政権を幕府といい、鎌倉[かまくら]幕府、室町[むろまち]幕府、江戸[えど]幕府があります。江戸幕府は、強い力を社会におよぼし、最も長く続けました。

『武家諸法度[ぶけしよはつど](部分要約)』
大名は、毎年4月に参勤交代すること。近ごろは、参勤交代の人数が多すぎるので、少なくすること。自分の領地の城を修理する場合、届け出ること。
將軍の許可なしに、大名の家どうして結婚[けっこん]してはいけない。
大きな船をつくってはいけない。

『参勤交代』
派手な大名行列は、民衆に大名の威厳[いげん]を見せつけましたが、各藩[かくはん]の財政は苦しくなりました。一方、参勤交代に使われる費用によって、江戸[えど]や街道[かいどう]の宿場町は栄えました。

『身分』
江戸[えど]時代には、身分によって、職業や住む場所のほか、税などの負担が決められていました。それらは親から子へと代々引きつがれていきました。

『鎖国[さこく]』
外国との貿易や交渉[こうしょう]を行う場所を厳しく制限したため、貿易で得られる利益や海外からの情報などは、幕府がほぼ独占[どくせん]することになりました。鎖国[さこく]はこの後200年以上続くことになりました。

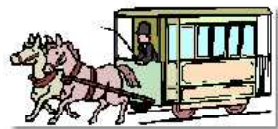
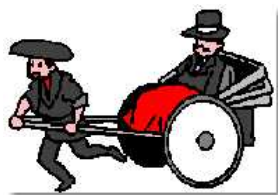
『出島』
長崎[ながさき]の港につくられた人工の島で、オランダとの貿易の場所になりました。

『歌に見る3人の武将の全国統一』
「織田がつき羽柴[はしば]がこねし天下もちすわりしままに食ふは徳川」
後の時代に、3人の武将による全国統一の様子は、上のような歌によられました。
新しい戦い方を用いて武力で統一を進めた信長、検地や刀狩[かたながり]など知恵[ちえ]を働かせて社会のしくみをつくった秀吉[ひでよし]、天下を取るチャンスを最後までじっと待ち、250年以上続く江戸[えど]幕府を築いた家康と、3人の果たした仕事の様子をよんだ歌になっています。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

社会【小6】9月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 6 江戸[えど]の文化 と新しい学問 	★歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して, 社会が安定するにつれて町人の文化が栄え, 新しい学問が起こったこと, それらが新しい時代への動きに影響を与えたことがわかるとともに, それらにかかわる人物の願いや働き, 代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 杉田[すぎた]玄白[げんぱく]・前野良沢[りょうたく]「解体新書」 伊能[いのう]忠敬「日本地図」 国学一本居宣長「古事記伝」 『歌舞伎[かぶき]』 歌舞伎[かぶき]の発展を支えたのが, この時代の町人で, 芝居[しばい]小屋に行ったり, ひいきの役者の浮世絵[うきよえ]を買ったりしました。大名にお金を貸すほど大きな財産をたくわえた商人のなかには, ひいきの役者に金銭[ぜに]的な援助[えんじょ]をする例もありました。 『浮世絵[うきよえ]』 美しい多色刷りの版画は, 広重などの絵師のほか, 色ごとに分けるための下絵をかく人, 版木をはる人, 重ね刷りをする人など, 多くの人々に支えられていました。 『蘭学[らながく](西洋の学問)』 当時, ヨーロッパの新しい知識や技術は, オランダを通じて日本に伝わりました。日本の各分野の発展にとっても役立ちましたが, 幕府の政治を批判するようなものは厳しく禁じられました。 『百姓[ひゃくしょう]一揆・打ちこわし』 ききんなどの社会不安や物価の上昇[じょうしょう]で生活が苦しくなった百姓[ひゃくしょう]や町人などが起こしました。参加者は重いばつを受けましたが, 幕府や藩[はん]の力の弱まりとともに件数が増えていきました。
1 日本の歴史 7 明治の国づくり を進めた人々	★黒船の来航, 明治維新, 文明開化, 大日本帝国憲法の発布とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して, 我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことがわかるとともに, それらにかかわる人物の願いや働き, 代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 ペリーの来航 1854年ー日米和親条約 勝海舟[かつかいしゅう] 明治維新[いしん] 1868年ー五箇条[かじょう]の御誓文[ごせいもん] 大久保利通 西郷隆盛[たかもり] 木戸孝允[たかよし] 大隈[おおくま]重信 伊藤博文 国会開設 貴族院と衆議院 『開国』 開国には強い反対が, 起こりました。反対派の一部は, 外国の強大な力を実感すると, 開国に反対するより



も外国に対抗[たいこう]する国づくりを第一に考えるようになり、方針を倒幕[とうばく]へと変えていきました。

『富国強兵』

欧米[おうべい]諸国に早く追いつくためにも、経力と軍事力の強化に重点を置いた政治が行われました。社会は共通の目標に向かって進む一方、急速な改革による不満も起こりました。

- ・殖産[しょくさん]興業—製糸、紡績[ほうせき]、兵器製造などで、国が運営する官営工場を開きました。
- ・地租[ちそ]改正—土地に対する税のしくみを改めました。
- ・徴兵令[ちょうへいれい]—20才になった男子は3年間、軍隊に入ることを義務づけました。

『文明開化』

欧米[おうべい]諸国に追いつくという意識は、生活や文化の面にも強くおよびました。都市部を中心に急激な変化が起こりましたが、西洋風のものであれば何でもよいとするような面もありました。

『福沢[ふくざわ]諭吉[ゆきち]「学問のすすめ」』

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」

『岡倉[おかくら]天心』

日本美術の価値を見いだした

『西南戦争』

徴兵令[ちょうへいれい]によって集められ、進んだ武器を持った政府軍に、士族からなる西郷軍は敗れました。

『自由民権運動』—板垣[いたがき]退助

明治維新[いしん]の改革はすべて政府が中心となって行い、国民は政府の方針に従うものとされていました。人々は、社会に起きたいろいろな問題を解決するためにも、自分たちも政治に参加することを要求しました。

『大日本帝国[ていこく]憲法』

アジアの国々に先がけて行われた憲法の発布と国会の開設によって、欧米[おうべい]諸国のような近代的な国の体制が整えられました。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ②プリント(問題) → ③テスト → ④評価 → ⑤課題

江戸時代の産業や文化

★ 備中ぐわなどの改良された農具が使われ、さつまいもなどの作物も新しく栽培されて、農業生産があがった。

★ 石見の銀山、夜波の金山などの鉱山が開発されて、幕府によって、直接治められた。

★ 東海道の五街道の整備が進み、とうやうに宿場町が発達した。

★ 江戸は政治の中心で、大阪は商業の中心だった。

★ 大阪や京都の町人のあいだで、活気のある元禄文化が栄え、井原西鶴らが活躍した。

幕末のようす

1853年、アメリカ海軍の指揮官ペリーが4艘の黒船をひきいて、浦賀のおきにあられた開国を求めた。かれは翌年、日米和親条約を結んだ。

アメリカ総領事のハリスは、日本に貿易を始めるように強く求めた。

幕府の大老井伊直弼は、天皇の許しを得ないで1858年、日米修好通商条約を結んだ。

15代将軍徳川家治は、国内のようすを見て、これ以上、幕府に政治を続ける力がないと考え、1867年、天皇に政権を返した。これを大政奉還という。これにより江戸幕府はたおれ、鎌倉時代より約700年続いた武士の世の中は終わった。

明治維新

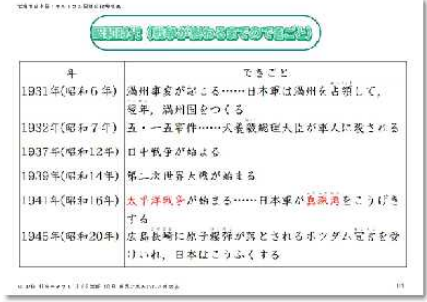
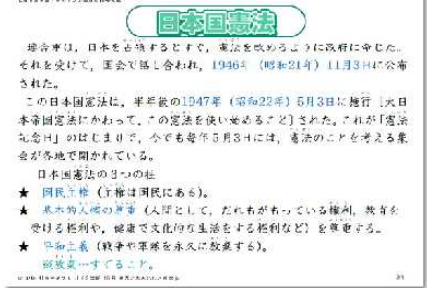
●江戸幕府をたおした西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允らは、天皇を中心とした世の中をつくり、次々に改革を行った。これを明治維新と呼ぶ。

年	できごと
1868年(明治元年)	大政奉還の御誓文…明治天皇が、われらの政治の方針を決めた
1869年(明治2年)	版籍奉還…大名の領地と人民を天皇に返す
1871年(明治4年)	廃藩置県…藩をなくして県を置く
1872年(明治5年)	全国に学校をつくる制度(学制)を定める
1873年(明治6年)	徴兵令…20才以上の男子は、すべて軍隊に入ることに義務づけられる
1877年(明治10年)	農民は、年貢のかわりに地租を納める(地租改正) 西南戦争…鹿児島で西郷隆盛が反乱を起こす

大正時代のできごと

年	できごと
1914年(大正3年)	第一次世界大戦が起こる
1918年(大正7年)	米騒動が起こる 米の値段があがることがを期待した商人たちが米を買いしめ、米の値段があがった
1922年(大正11年)	京都で全国水平社ができる…差別をなく運動を始める 関東大震災…この震災の中で、多くの朝鮮人が殺される
1923年(大正12年)	普通選挙法が公布…25才以上の男子すべてが選挙権をもつ
1925年(大正14年)	

社会【小6】10月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 8 世界に歩み出した日本  001 提示 昭和時代(戦争が終わるまでのできごと).jpg  003 提示 日本国憲法.jpg	★日清・日露の戦争, 条約改正, 科学の発展やそれらにかかわる人物の働きを理解し, 我が国の国力が充実し, 国際的地位が向上したことや, それによって人々の生活や社会が変化したことがわかるとともに, それらにかかわる人物の願いや働きを考えようとする。 【用語】 ノルマントン号事件(イギリス) エルトウール号のそうなん者を救った大島の人々(トルコ) 陸奥[むつ]宗光(外務大臣) 日清戦争 1894年 日露[にろ]戦争 1904年 韓国[かんこく]併合[へいごう] 1910年 小村寿太郎[じゅたろう](外務大臣) 関税自主権の回復 新渡戸[にとべ]稲造[いなぞう]—国際連盟 事務局次長 『紡績[ぼうせき]』 動物や植物などから繊維[せんい]を取り出して加工し, 糸にすることを紡績[ぼうせき]といいます。 『不平等条約』 欧米[おうべい]諸国は, 外国から多くの利益を得るために自分たちに有利な条約を結ばせていました。条約の改正に苦勞した日本ですが朝鮮[ちょうせん]に対しては逆に不平等な条約をおしつけました。 『条約改正』 (関税自主権)—外国からの輸入品にかかる税金を自由に決める権利 (領事裁判権)—外国人が日本国内で罪をおかしても, 日本の法律ではさばくことができないもの 『植民地』 産業が発達した欧米[おうべい]諸国は, 資源や市場を求めて, アジアやアフリカの各国に進出し, 自国の植民地としました。政府は日本が, 植民地になることをおそれるとともに, 自らも欧米[おうべい]諸国にならって, 大陸への進出をくわだてるようになりました。 『与謝野[よさの]晶子[あきこ]』 「君死にたまふことなかれ」—戦場の弟を思う詩を発表して, 戦争に反対する気持ちを表しました。 『独立運動』 植民地とされた国では, 政治的, 経済的な面で不利なあつかいを受けたり, 自国の伝統や文化を禁じられたりすることも多く, 人々は独立を求めて立ち上がりました。

002 提示 第一次世界大戦と第二次世界大戦.jpg

	第一次世界大戦 1914年～1918年	第二次世界大戦 1939年～1945年
戦った国	ドイツ・オーストリア ↑ アメリカ・イギリス・日本	ドイツ・イタリア ↑ 日本 イギリス・フランス・アメリカ
日本の動き	・それまでドイツ/中国に属していた港を占領する ・南洋進出ができる (1929年) ・露支アに革命が起こる(1917年)	・1941年に日本の海軍がハワイの真珠湾を襲撃し、アメリカと戦争になった ・沖縄なども戦場になる ・原子爆弾が落とされる

004 提示 2つに大きく分かれたせがい.jpg

第二次世界大戦で勝った国の中で、アメリカとソ連の2国が、戦後、大きな力をもつようになった。しかし、アメリカとソ連は、政府のしくみや考え方が大きく違って、向国とも、世界の国々を味方につけようと、はげしく対立した。世界の国々は、アメリカにつくど、ソ連につく国々のなつに大きく分かれることになった。

1950年(昭和25年)に起きた朝鮮戦争は、ソ連側についた朝鮮民主主義人民共和国と、アメリカ側についた大韓民国との戦いだった。ソ連と同じ考えの中国は朝鮮民主主義人民共和国を応援し、アメリカは大韓民国を応援した。アメリカは早く日本を独立させて味方につけようと考え、1951年(昭和26年)にサンフランシスコ平和会議を開いた。

『世界で活やくした日本人』

北里柴三郎[しばさぶろう]ー破傷風
った病気の病原体を研究

志賀潔ー赤痢[せきり]菌[きん]

野口英世ー原因のわからなかつた病気の病原体を研究

『国際社会』

開国後、外国人教師が日本に來たり、日本人が欧米[おうべい]諸国に留学したりと、文化や学問の面でも国をこえての交流がさかんになりました。それによって科学技術や産業も進歩しました。

『新しい文学』

(小説) 夏目漱石[そうせき] 樋口一葉

(詩や短歌・俳句) 与謝野[よさの]晶子[あきこ] 正岡[まさおか]子規

『田中正造と足尾[あしお]銅山』

明治時代の中ごろから、足尾[あしお]銅山(栃木県[とちぎけん])の工場から出る有毒なけむりや廃水[はいすい]が、山林をからし、田畑や川の魚に大きな被害[ひがい]をもたらすなど、周辺の農民の生活への深刻なえいきょうが目立ち始めました。衆議院議員の田中正造は、足尾[あしお]銅山の仕事をやめるように政府に何度もうったえるなど、農民の生活を守るために献身的[けんしんてき]な努力をしました。

『民主主義』

教育が広まり、生活が豊かになってくると、人々の民主主義への意識が高まり、社会的な権利を主張する動きがさかんになっていきました。政府は、こうした動きを警戒[けいがい]し、運動を取りしめるための法律を定めました。

『関東大震災[だいいんさい]』

1923年9月1日、関東地方南部で大きな地震[じしん]が起き、東京、横浜[よこはま]などで、こわれた家約21万戸、焼けた家約21万戸、死者・行方[ゆくえ]不明者約11万人もの被害[ひがい]が出ました。また、震災[しんさい]の混乱のなかで、朝鮮人[ちょうせんじん]が暴動を起こすといううわさが流され、多数の朝鮮人[ちょうせんじん]や中国人が殺される事件が起きました。

『女性運動』

平塚[ひらつか]らいてうや市川房枝[ふさえ]らは新婦人協会を設立し、選挙権などの権利の獲得[かくとく]、女性や母親の権利を守る運動を行いました。

『全国水平社』

明治に入って身分制度が改められてからも、就職や結婚[けっこん]などで差別され、苦しめられてきた人々は差別をなくす運動に立ち上がりました。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

社会【小6】 11月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
1 日本の歴史 9 長く続いた戦争と人々のくらし 	★日中戦争, 我が国にかかわる第二次世界大戦, その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産を通して, 我が国が戦時体制に移行して, 敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと, 戦場になった地域に大きな損害を与えたことがわかるとともに, それらにかかわる代表的な文化遺産の意味を考えようとする。 【用語】 原爆[げんぱく]ドーム(世界文化遺産) 満州事変 1931 (昭和6) 国際連盟からの脱退[だつたい] 『満州』 日本の多くの会社が進出し, また資源を手に入れたり, 軍事的な拠点[きょてん]としたりするなど, さまざまな面から日本の「生命線」と考えられていました。 『太平洋戦争』 東南アジアの多くがヨーロッパの植民地だったので, 日本はヨーロッパの戦争を機に, これらの地域に軍を進め, 資源の獲得[かくとく]を目指しました。このことがアメリカとの戦争につながり, 戦争が世界じゅうに広がりました。 『戦時体制』 非常時として, 国民が一丸となって戦争に協力することを求められました。また, これによって政府に対する国民の不満などもおさえつけられました。 『戦争中の標語』 ・アジアは一家 日本は柱 ・草の根をかむとも 倒せ[たおせ]米と英 ・欲しがりません 勝つまでは ・ぼくらは戦う 職場の戦士 『空襲[くうしゅう]』 住宅地への爆撃[ばくげき]が行われたことで, それまでの戦争とは異なり, 兵士以外の人々がたくさん犠牲になりました。太平洋戦争では, 約60万人が空襲[くうしゅう]でなくなりました。 『原子爆弾[ばくだん]の投下』 1945年8月6日に広島, 9日には長崎[ながさき] 『8月15日』 悲惨な戦争を二度と起こさないことをちかい, 平和をいのるための「終戦の日」です。全国戦没者

	追悼式などがこの日に行われ、戦争の記憶を語りつぐさまざまな取り組みがされています。
1 日本の歴史 10 新しい日本、平和な日本へ	★日本国憲法の制定、オリンピックの開催など我が国の戦後の歩みを通して、戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことがわかるとともに、平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする。 【用語】 日本国憲法 国際連合への加盟(1956年) 高度経済成長 日中平和友好条約の調印(1978年) 北方領土、四つの島 北朝鮮[きたちょうせん] 拉致[らち]被害者[ひがいしゃ] アメリカ軍基地が残る沖縄[おきなわ] 『戦後改革』 民主主義にもとづく現在の政治や社会のしくみの多くは、このときの改革でつくられました。憲法の三原則(国民主権・基本的人権の尊重・平和主義)も、このときに定められました。 『朝鮮[ちようせん]戦争』 1950年、韓国[かんこく]と北朝鮮[きたちょうせん]の間に戦争が起こりました。 『サンフランシスコ平和条約に調印(1951年)』 アメリカで開かれた講和会議で、48か国と平和条約を結んで独立を回復しました。しかし、中国は招待されず、ソ連ポーランドなどは調印をこばみ、インド、ビルマ(現・ミャンマー)などは欠席しました。 『「もはや戦後ではない」』 1956年の「経済白書」は、復興の時期は終わったとして、このような表現をしました。 『三種の神器』 テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機[せんたくき]。 『東京オリンピック 1964 (昭和39)年』 外国から来る大勢の選手や観客をむかえるために、さまざまな施設[しせつ]や交通機関が建築・整備されました。オリンピックの開催[かいさい]は好景気をもたらすと同時に、戦後の復興を人々に実感させました。 『3C』 カー、クーラー、カラーテレビ

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

社会 【小6】 12月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容『指導語い・表現』S3 中級 S4 上級
2 わたしたちの生活と政治 1 わたしたちの願いを実現する政治  国の政治1『国会』 国の政治2『内閣』	★地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。 『市役所』 地域の住民のためにさまざまな仕事を行っています。住民の声を受けて、それを実行するための計画をつくったり、議会で決められたことを実行したりします。町や村では役場といわれるのが一般的です。 『市議会の仕事』 ・条例を制定，改正，廃止[はいし]すること ・市の予算を決めること ・市の税金を決めること 『税金』 住民や会社の資産，いろいろな活動によって得た収入などに対してかけられます。国や市が行う仕事の大半は税金でまかなわれており，わたしたちには納税の義務があります。 『国会一衆議院と参議院』 国会で決められる予算や法律は，わたしたちの日常生活のなかのいろいろな場面にかかわってきます。そのため，国会でどんな話し合いがされ，どんな予算や法律が決められているかに，関心をもつことが大切です。 『国会の働き』 ・内閣総理大臣を選ぶ。 ・内閣を信任しないことを決める(衆議院)。 ・国の予算を，話し合って決める。 ・国の法律をつくる。 ・外国と結んだ条約を承認[しょうにん]する。 ・裁判官を裁く裁判所をつくる。 『内閣』 首相[しゅしょう]は，多くの場合，衆議院で多数をしめた政党から選ばれます。首相[しゅしょう]を中心とした



国の政治3『裁判所』



内閣が交代すると、政治の方針も変わることがあります。そうした意味でも、選挙でのわたしたちの判断が大切になってきます。

『文部科学省の主な仕事』

- ・学校でどんな勉強を、どのくらいするか決める。
- ・学校で使われる教科書が正しく書かれているかを点検する。
- ・学校の先生の数や建物の基準を決める。
- ・科学の研究が発展する環境[かんきょう]を整える。
- ・スポーツをさかんにする環境[かんきょう]を整える。

『裁判所』

生活をするのに不利益なことがあったり、話し合いで解決できないことがあったりする場合にも裁判が起こされます。法律がきちんと守られ、わたしたちが安心してくらしていくためにも、裁判所の仕事は重要です。

『国会・内閣・裁判所の仕事の分担』

国会・内閣・裁判所は、それぞれ立法・行政・司法とよばれ、国の政治のだいじな仕事を分担して進めています。また、それぞれの機関が独立し、おたがいの仕事を監視[かんし]することで、権力が一つの機関に集中しないようになっています。

『国民の祝日』

1月1日 元日 年の始めを祝う。

1月の第2月曜日 成人の日

大人になったことを自覚し、自分自身の力で生きていこうとする若者を祝いはげます。

2月11日 建国記念の日 国がつくられた昔を思い、国を愛する心を養う。

3月21日ごろ 春分の日 自然をたたえ、生物をだいじにする。

4月29日 昭和の日 激動の日々をこえ、復興をとげた昭和の時代をふり返し、国の将来を思う。

5月3日 憲法記念日 日本国憲法の施行[しこう]を記念し、国の成長を願う。

5月4日 みどりの日 自然に親しむとともにそのめぐみに感謝し、豊かな心をはぐくむ。

5月5日 こどもの日

子どもの人格を重んじ、子どもの幸福が実現されるよう努力するとともに、母に感謝する。

7月の第3月曜日 海の日 海のめぐみに感謝するとともに、海洋国日本の繁栄[はんえい]を願う。

9月の第3月曜日 敬老の日 長い間社会につくしてきたお年寄りを敬愛し、長生きを祝う。

9月23日ごろ 秋分の日 祖先を敬い、なくなった人を思い出す。

10月の第2月曜日 体育の日 スポーツに親しみ、健康な心身を育てる。

11月3日 文化の日 自由と平和を愛し、文化をよりよいものにする。

12月23日 天皇誕生日 天皇の誕生日を祝う。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

社会【小6】1月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容	『指導語い・表現』	S3	中級	S4	上級
2 わたしたちの生活と政治 2 わたしたちのくらしと日本国憲法	★日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関連に関心をもち、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解する。	『ユニバーサルデザイン』 すべての人にとって使いやすい形や機能を考えたデザインの事です。				
	『日本国憲法』 国の基本的なあり方を定めており、すべての法やきまりは憲法にもとづいています。日本で憲法の内容を改める場合には、国会での議決に加えて国民による投票が必要になります。					
	『三つの原則』 基本的人権の尊重 国民主権 平和主義					
	『基本的人権の尊重』 基本的人権は、人が人間として当然もっている権利で、生まれてから死ぬまですべての国民に保障されています。わたしたち一人ひとりが、個人として尊重されることは、憲法にも記されているのです。					
	『国民の権利』 思想や学問の自由 教育を受ける権利 裁判を受ける権利 健康で文化的な生活を営む権利(生存権)	働く人が団結する権利 政治に参加する権利(参政権) 仕事について働く権利			個人の尊重、男女の平等 言論や集会の自由 居住や移転、職業を選ぶ自由	
	『国民の義務』 子どもに教育を受けさせる義務 仕事について働く義務 税金を納める義務					
	『国民主権』 主権とは、国の政治のあり方を最終的に決定することで、国民主権とは国民がその役目をこなうことを示しています。そのため、わたしたちは定められた権利をきちんと使うことが求められます。					
	『平和主義』 世界では今も戦争や紛争[ふんそう]によって苦しんでいる人々が数多くいます。日本は、国際社会から、自国だけでなく、ほかの国々の平和を築くために積極的に活動することが期待されています。					

『非核[ひかく]三原則』
「核兵器[かくへいき]をもたない、つぐらない、もちこませない」

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

日本国憲法の三大原則

★ 日本国憲法は、次の三つの基本原則から成り立っている。

- ・ 国政を決定する最終的な権限は国民にある。(国民主権)
- ・ すべての人が個人として人間らしく生きる権利を保障する。(基本的人権の尊重)
- ・ 前文・第9条で規定している平和主義。



日本国憲法 (まとめ)

日本国憲法の制定

1946年11月3日 公布
1947年 5月3日 施行

三大原則

- ・ 国民主権
- ・ 平和主義
- ・ 基本的人権の尊重

天皇について

象徴としての天皇

天皇の国事行為

- ・ 内閣総理大臣，最高裁長官の任命
- ・ 国会の召集
- ・ 衆議院の解散 など

憲法改正について

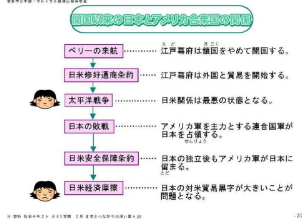
憲法改正案

各議院の総議員の3分の2以上の賛成

国民投票で過半数

天皇が国民の名で公布

社会【小6】2月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
3 世界の中の日本 1 日本とつながりの深い国々   	★世界の中の日本の役割に関する社会的事象に関心をもち、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解し、平和な国際社会の一員としての自覚をもつ。 『アメリカ』 ・国旗の意味…赤と白の横線は独立したときの13州，星は現在の州の数(50州)を表しています。 ・首都…ワシントン ・面積…約963万km² ・人口…約3億1800万人(2010年) ・主な言語…英語 『人種』 人種のちがいに対する偏見[へんけん]が，これまでたくさんの差別や対立などを生んできました。こうした問題をなくそうとする動きは強くなり，現在では人種差別をなくすための世界的な決まりが定められ，人種に関係なく重要な職務につくようになってきています。 『自由の女神[めがみ](ニューヨーク，世界文化遺産)』 『グローバル化』 現代は，インターネットや衛星放送で世界各地のできごとがすぐに伝わり，また国境をこえた活動をしている企業[きぎょう]や団体も多くなっています。そのためある国で起きたことが，ときには全世界にえいきょうすることもあります。 『中国』 ・国旗の意味…大きな星が中国共産党，小さな星は労働者，農民など ・首都…ペキン ・面積…約960万km² ・人口…約13億5400万人(2010年) ・主な言語…中国語 『民族』 世界にはさまざまな民族がいて，それぞれ異なる文化や言語，生活様式をもっています。そのため異なる民族どうしでともにくらしていく場合は，おたがいの文化を尊重する姿勢をもつことがとても大切になってきます。 『中国から伝わってきたもの』

世界貿易手帳：わが国と主要国の貿易手帳

日本と中国の貿易手帳

＜ 中 国 ＞ (2012年)

輸出相手国	輸出額	輸入相手国	輸入額
中国	約1兆5000億円	中国	約1兆5000億円

＜ 日 本 ＞ (2012年)

輸出相手国	輸出額	輸入相手国	輸入額
中国	約1兆5000億円	中国	約1兆5000億円

（1兆円は1000億円）

① 輸出：輸出額が大きい国は中国、② 輸入：輸入額が大きい国は中国

世界貿易手帳：わが国と主要国の貿易手帳

サウジアラビア

面積……215万km²
 (日本の約6倍の広さがある)
 人口……約2400万人(2010年)
 首都……リヤド
 アラビア半島に位置している。
 国土の大部分がさばくである。
 今から約80年前に、イギリスから独立した。

① 輸出：輸出額が大きい国は中国、② 輸入：輸入額が大きい国は中国

世界貿易手帳：わが国と主要国の貿易手帳

サウジアラビアの貿易手帳

＜ 1兆円は1000億円 ＞

サウジアラビアにとって、日本が大事な貿易相手国であることが上の表からわかる。

また、日本にとってもサウジアラビアは大切な貿易相手国である。

2012年の統計で、輸入相手国の第8位、輸出相手国の第21位にサウジアラビアはなっている。

① 輸出：輸出額が大きい国は中国、② 輸入：輸入額が大きい国は中国

世界貿易手帳：わが国と主要国の貿易手帳

わが国の貿易手帳

◆ 日本の貿易で大きな割合をしめているのは、アメリカ合衆国とアジアの国々である。

アメリカ合衆国
 主要な貿易相手国。しかし、輸出額に比べて、輸入額の割合が小さい。アメリカ合衆国にしてみれば、たくさん買っているのに、日本はアメリカ合衆国から買ってくれないことになる。アメリカ合衆国は、日本がもっと輸入をふやすように要求している。

アジア
 原油や天然ガスの輸入が多いが、最近では工業製品の輸入もふえている。アジアには気候産上の国々が、多いため、日本は、貿易だけでなく、関係のための、技術的な援助も行っている。

① 輸出：輸出額が大きい国は中国、② 輸入：輸入額が大きい国は中国

世界貿易手帳：わが国と主要国の貿易手帳

青年海外協力隊

◆ 青年海外協力隊は、アジア・アフリカ・中南米・オセアニアの発展途上国に技術的な援助をする制度で、国際協力の一部として行われている。

・ 人的援助
 言葉・理科・日本語などの先生、考古学の専門家など

・ 農林水産
 米作・雑作・畜産・漁法などの専門家、じゅうりゅ

・ 保健・医療
 医師・看護師・保健師など

・ 気工農
 鉱山開採や自動車整備などの専門家

● このほか、いろいろな分野で活動している。

① 輸出：輸出額が大きい国は中国、② 輸入：輸入額が大きい国は中国

お茶 漢方薬 シューマイ ギョーザ 毛筆書写と漢字

『経済特区』

税金や貿易などで優遇[ゆうぐう]されている経済特区には、外国の企業[きぎょう]がたくさん進出しています。経済的に発展を続ける中国は、今後も世界に大きなえいきょう力をもつと考えられています。

『韓国[かんこく]』

- ・ 国旗の意味…円の赤は陽[ひ]、青は陰[かげ]、白地は平和を愛する心
 四すみの印は天・地・火・水を表しています。
- ・ 首都…ソウル
- ・ 面積…約10万km²
- ・ 人口…約4900万人(2010年)
- ・ 主な言語…韓国語[かんこくご]

『儒教[じゅきょう]』

韓国[かんこく]の人々の間に深く根づいている教で、上下関係や伝統などを重視します。韓国[かんこく]の人々は家族や国をととても大切にしています。

『南北統一』

日本の植民地支配が終わった1945年にアメリカとソビエト連邦[れんぽう](現ロシア連邦[れんぽう])の対立から朝鮮[ちょうせん]半島が南北に分けられてしまいました。統一への課題はありますが、南北が統一されて、いっしょになることを、多くの人が願っています。

『サウジアラビア』

- ・ 国旗の意味…イスラム教の聖典であるコーランの一節を示したアラビア語の文字と正義を意味する剣[けん]がえがかれています。
- ・ 首都…リヤド
- ・ 面積…約215万km²
- ・ 人口…約2600万人(2010年)
- ・ 主な言語…アラビア語(公用語)、英語

『石油』

エネルギー源やプラスチックなどの原料としてわたしたちの日常生活に欠かせないものです。世界でもサウジアラビアなど中東とよばれる地域は、産出量が多く、石油の値段などを通じて世界に大きなえいきょう力をもっています。

『イスラム教』

中東諸国の多くの人に信仰[しんこう]されており、信者の守る義務が厳しく定められています。国教がイスラム教のサウジアラビアでは、宗教の指導者が政治的にも大きな力をもつことが多く、宗教と政治が密接に関連しています。

『モスク』 イスラム教の聖地 メッカ

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

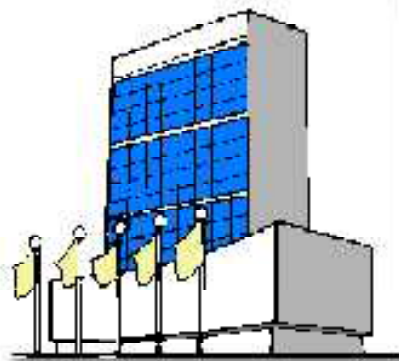
社会【小6】3月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
3 世界の中の日本 2 世界の未来と日本の役割	★我が国の国際交流や国際協力の様子について，具体的事例を通して意欲的に調べることを通して理解するとともに，平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き，世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解する。 『国際協力』 十分な社会環境[かんきょう]が整備されていない国に対し，産業や生活のための援助[えんじょ]を，日本など先進国とよばれる国が行っています。また，政府の活動とは別に，支援[しえん]が必要だと思われる人々のところに行き，現地の人々の助けとなる活動を行う人が増えています。 『ODA』 貧しさなどの理由で困っている国の人々の生活をよくするために政府が行う援助[えんじょ]のことです。 青年海外協力隊 『NGO(非政府組織)』 各国の政府や国連から独立して活動している民間の団体のことです。その活動は，主に募金[ぼきん]や寄付金，ボランティアなどで支えられています。 『国際連合(国連)』 世界の平和と安全を守り，人々のくらしをよりよいものにするために，1945年に生まれました。現在では，世界の190余りの国のうち，192か国が加盟しています(2009年)。 『国連機関』 経済，社会，文化，環境[かんきょう]，人権などの分野で10以上の機関が活動しています。各機関の活動は，国連加盟国からの分担金だけでなく，人々の募金[ぼきん]によってもまかなわれています。 『復興支援[しえん]』 戦争や紛争[ふんそう]であれた国の復興支援[しえん]では，技術力の高さなどから，日本のさらなる協力活動が求められています。しかし，支援[しえん]活動に危険をともなう地域もあるなど，難しい問題もあります。 『環境[かんきょう]問題』 地球温暖化 熱帯雨林の減少 砂漠化[さばくか] 酸性雨 水や大気のごち 『持続可能な社会』 未来にわたって，世界じゅうの人々が豊かな生活を送るためには，よりよい環境[かんきょう]を残していくことが必要です。開発を進めながら環境[かんきょう]を守っていくための協力が，世界じゅうで求められています。

『国旗・国歌』

世界の国々は、いずれも国旗や国歌をもっています。国旗や国歌には、それぞれの国の人々の願いがこめられています。おたがいの国旗や国歌を重し、大切にみつかることは、世界共通のルールです。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題



こ 国連本部.GIF



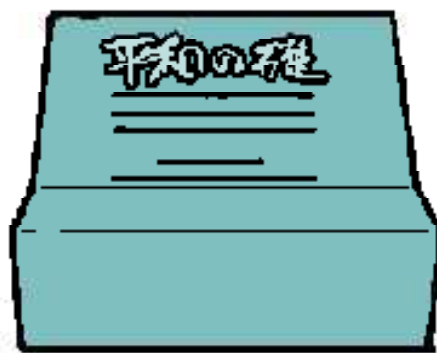
ふ 福祉センター.GIF



ぶ 文化センター.GIF



へ 平和記念式典.GIF



へ 平和のいし.GIF